

# 平成22年度 標茶町病院事業会計決算審査意見

## 第1 審査の概要

### 1 審査の対象

平成22年度標茶町病院事業会計決算

### 2 審査の期間

平成23年6月23日

### 3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 欠損金処理計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ 収益費用明細書

ウ 固定資産明細書

エ 企業債明細書

### 4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状況を適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

## 第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、平成23年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

### 1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりである。

#### (1) 収益的収入及び支出

収益的収支の状況

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額	
			H22年度	H21年度		
収 入	<b>医業収益</b>	<b>596,378,000</b>	<b>(600,755,006)</b> <b>598,699,252</b>	<b>(100.7)</b> <b>100.4</b>	<b>(100.0)</b> <b>99.7</b>	<b>(4,377,006)</b> <b>△2,321,252</b>
	入院収益	338,436,000	(337,347,616) 337,344,408	(99.7) 99.7	(98.2) 98.2	(△1,088,384) △1,091,592
	外来収益	206,014,000	(213,290,612) 213,228,494	(103.5) 103.5	(103.2) 103.2	(7,276,612) 7,214,494
	その他医業収益	51,928,000	(50,116,778) 48,126,350	(96.5) 92.7	(102.5) 98.3	(△1,811,222) △3,801,650
	<b>医業外収益</b>	<b>539,869,000</b>	<b>(524,320,797)</b> <b>524,145,647</b>	<b>(97.1)</b> <b>97.1</b>	<b>(95.8)</b> <b>95.8</b>	<b>(△15,548,203)</b> <b>△15,723,353</b>
	受取利息配当金	6,240,000	(6,208,000) 6,208,000	(99.5) 99.5	(100.4) 100.4	(△32,000) △32,000
	他会計補助金	207,327,000	(197,472,000) 197,472,000	(95.2) 95.2	(90.8) 90.8	(△9,855,000) △9,855,000
	他会計負担金	319,183,000	(315,038,000) 315,038,000	(98.7) 98.7	(98.8) 98.8	(△4,145,000) △4,145,000
	患者外給食収益	2,940,000	(2,115,880) 2,015,124	(72.0) 68.5	(62.4) 59.4	(△824,120) △924,876
	その他医業外収益	4,040,000	(3,394,917) 3,320,523	(84.0) 82.2	(86.6) 84.7	(△645,083) △719,477
	補助金	139,000	(92,000) 92,000	(66.2) 66.2	—	(△47,000) △47,000
	<b>収入合計</b>	<b>1,136,247,000</b>	<b>(1,125,075,803)</b> <b>1,122,844,899</b>	<b>(99.0)</b> <b>99.8</b>	<b>(98.4)</b> <b>98.2</b>	<b>(△11,171,197)</b> <b>△13,402,101</b>
支 出	<b>医業費用</b>	<b>1,050,816,000</b>	<b>(1,024,513,052)</b> <b>1,012,561,801</b>	<b>(97.5)</b> <b>96.4</b>	<b>(96.8)</b> <b>95.6</b>	<b>(26,302,948)</b> <b>38,254,199</b>
	給与費	708,190,000	(694,844,174) 694,653,050	(98.1) 98.1	(97.5) 97.4	(13,345,826) 13,536,950
	材料費	109,939,000	(105,866,011) 100,824,772	(96.3) 91.7	(93.3) 88.8	(4,072,989) 9,114,228
	経 費	150,287,000	(142,410,798) 135,889,478	(94.8) 90.4	(95.2) 90.8	(7,876,202) 14,397,522
	減価償却費	75,285,000	(75,284,859) 75,284,859	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(141) 141
	資産減耗費	1,735,000	(1,684,300) 1,684,300	(97.1) 97.1	(103.6) 103.6	(50,700) 50,700
	研究研修費	5,380,000	(4,422,910) 4,225,342	(82.2) 78.5	(82.5) 79.0	(957,090) 1,154,658
	<b>医業外費用</b>	<b>57,409,000</b>	<b>(57,087,320)</b> <b>67,717,587</b>	<b>(99.4)</b> <b>118.0</b>	<b>(97.9)</b> <b>115.2</b>	<b>(321,680)</b> <b>△10,308,587</b>
	支払利息及び企業債取扱諸費	53,260,000	(53,259,550) 53,259,550	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(450) 450
	患者外給食材料費	2,040,000	(1,828,000) 1,740,952	(89.6) 85.3	(61.5) 58.5	(212,000) 299,048
	消費税	1,224,000	(1,115,300) 1,115,300	(91.1) 91.1	(90.3) 90.3	(108,700) 108,700
	雑損失	885,000	(884,470) 11,601,785	(100.0) 1,310.9	(99.9) 1,584.9	(530) △10,716,785
	<b>予備費</b>	<b>500,000</b>	—	—	—	<b>(500,000)</b> <b>500,000</b>
	<b>特別損失</b>	<b>27,522,000</b>	<b>(27,521,226)</b> <b>27,521,226</b>	<b>(100.0)</b> <b>100.0</b>	—	<b>(774)</b> <b>774</b>
	過年度損益修正額	27,522,000	(27,521,226) 27,521,226	(100.0) 100.0	—	(774) 774
<b>支出合計</b>	<b>1,136,247,000</b>	<b>(1,109,121,598)</b> <b>1,107,800,614</b>	<b>(97.6)</b> <b>97.5</b>	<b>(96.8)</b> <b>96.7</b>	<b>(27,125,402)</b> <b>28,446,386</b>	
<b>(差引額) 当年度純利益</b>	—	<b>(15,954,205)</b> <b>15,044,285</b>	—	—	—	

<注>：上段（ ）内の数値並びに割合は消費税込みの金額

本年度の予算執行状況は、収入においては予算額 1,136,247,000 円に対し、決算額は 1,125,075,803 円、執行率 99.0%で、予算額に対し差引 11,171,197 円の減となっている。

支出については予算額 1,136,247,000 円に対し、決算額は 1,109,121,598 円で、執行率は 97.6%である。

不用額 27,125,402 円の内訳は、医業費用では給与費、材料費、経費等で 26,302,948 円、医業外費用が 321,680 円、予備費は 500,000 円となっている。

## (2) 資本的収入及び支出

収入においては、予算額 2,180,000 円に対し決算額は 2,160,000 円、その内容は補助金である。

支出については、予算額 111,288,000 円に対し、決算額は 111,122,629 円で執行率は 99.9%である。支出額に対し収入額が 108,962,629 円不足しているが、この不足額は、過年度分損益勘定留保資金 108,962,629 円で補填されている。

支出の内容は、建設改良費 19,108,320 円 企業債償還金が 81,992,309 円 その他固定負債償還金 10,022,000 円となっている。

### 資本的収支の状況

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率		予算に比べ決算額の増減及び不用額
			H22 年度	H21 年度	
収 入	固定資産売却代金	(0)	(0.0)	(0.0)	(△20,000)
	20,000	0	0.0	0.0	△20,000
	補助金	(2,160,000)	(100.0)	—	(0)
	2,160,000	2,160,000	100.0	—	0
資本的収入合計		(2,160,000)	(99.1)	(0.0)	(△20,000)
		2,180,000	99.1	0.0	△20,000
支 出	建設改良費	(19,108,320)	(99.1)	(87.0)	(164,680)
	19,273,000	18,198,400	94.4	82.9	1,074,600
	企業債償還金	(81,992,309)	(100.0)	(100.0)	(691)
	81,993,000	81,992,309	100.0	100.0	691
	その他固定負債償還金	(10,022,000)	(100.0)	(100.0)	(0)
	10,022,000	10,022,000	100.0	100.0	0
資本的支出合計		(111,122,629)	(99.9)	(97.6)	(165,371)
		111,288,000	99.0	96.8	1,075,291
差引額		(△108,962,629)	—	—	—
		△108,052,709			

<注>：上段（ ）内の数値は消費税込みの金額

### (3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する、予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりである。

ア 起債の利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲で執行されている。

なお、本年度において企業債は発行されていない。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、給与費 708,190,000 円、交際費 1,500,000 円であるが、いずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの繰入金

一般会計から補助、負担をうける予算金額 526,510,000 円に対し、決算額は 512,510,000 円で、いずれも予算の範囲内で執行されている。

## 2 経営状況

### (1) 経営成績

損益計算書に示されているとおり（記述並びに図表の数値は消費税抜きの金額で表示しています。）本年度の総収益は 1,122,844,899 円、総費用 1,107,800,614 円で純利益 15,044,285 円を計上している。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益は 37,565,652 円の増、総費用も 38,733,436 円の増となったが、純利益は前年度より 1,167,784 円の減となっている。医業収支でみると収益 598,699,252 円に対し費用は 1,012,561,801 円で、差引 413,862,549 円の医業収益不足となる。

当年度未処理欠損金は、前年度繰越欠損金に本年度純利益が加算され 27,762,578 円となっている。

なお、経営成績及び主な利益指標の推移は次のとおりである。

### 経営成績の推移

（単位：円・％）

区分	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度
総収益	1,122,844,899	1,085,279,247	1,084,424,147	1,030,863,790	1,011,948,069
うち医業収益	598,699,252	670,613,456	645,566,988	594,380,969	588,454,342
総費用	1,107,800,614	1,069,067,178	1,056,455,608	1,017,767,162	1,011,784,251
うち医業費用	1,012,561,801	998,781,581	982,027,433	943,525,369	933,870,479
当年度純利益	15,044,285	16,212,069	27,968,539	13,096,628	163,818
前年度繰越欠損金	42,806,863	59,018,932	86,987,471	100,084,099	100,247,917
当年度未処理欠損金	27,762,578	42,806,863	59,018,932	86,987,471	100,084,099
経常収支比率	101.4	101.5	102.6	101.3	100.0
医業収支比率	59.1	67.1	65.7	63.0	63.0

（数値は消費税抜き）

## (2) 業務量（患者数）の状況

患者数は、入院患者が年間延べ 15,243 人で 1 日平均 41.8 人、前年度と比較すると 389 人減少し、外来患者数は年間 38,844 人で 1 日平均 159.9 人、前年度と比較すると 15 人の減少となっている。

患者一人当たりの診療収入は、入院患者が 22,131 円で前年度と比較すると 4,492 円の減、外来患者は 5,489 円で前年度と比較すると 155 円の増であった。

### ア 診療日数

(単位：日)

区 分	平成 22 年度 (A)	平成 21 年度 (B)	差引 (A) - (B)
入 院	365	365	0
外 来	243	242	1

### イ 入院患者数

(単位：人)

区 分	平成 22 年度 (A)		平成 21 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内 科	13,803	37.8	14,299	39.2	△496	△1.4
外 科	760	2.1	1,003	2.7	△243	△0.6
産婦人科	680	1.9	330	0.9	350	1.0
合 計	15,243	41.8	15,632	42.8	△389	△1.0

### ウ 病床の利用状況

\*病床は全て一般病床

区 分	平成 22 年度	平成 21 年度	比 較
病床数 (床)	85	85	0
年間延病床数 (床)	31,025	31,025	0
年間患者数 (人)	15,243	15,632	△389
病床利用率 (%)	49.1	50.4	△1.3

### エ 外来患者数

(単位：人)

区 分	平成 22 年度 (A)		平成 21 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内 科	25,375	104.4	24,990	103.3	385	1.1
外 科	9,730	40.1	9,910	41.0	△180	△0.9
産婦人科	2,354	9.7	2,351	9.7	3	0
小 児 科	1,385	5.7	1,608	6.6	△223	△0.9
合 計	38,844	159.9	38,859	160.6	△15	△0.7

### オ 患者一人 1 日当り診療収入

(単位：円)

区 分	平成 22 年度 (A)	平成 21 年度 (B)	差引 (A) - (B)
入 院	22,131	26,623	△4,492
外 来	5,489	5,334	155

### (3) 収益

本年度の総収益は、1,122,844,899 円で、前年度（1,085,279,247 円）に比較すると 37,565,652 円の増加となった。

内容は、医業収益が 598,699,252 円で前年度（670,613,456 円）に比し 71,914,204 円の減となっている。主なものは、入院収益が 78,826,755 円の減収であった。

医業外収益 524,145,647 円は、前年度（414,665,791 円）に比し 109,479,856 円の増となっている。これは主に他会計補助金、他会計負担金の増によるものであった。また、補助金として 92,000 円の収入があった。

#### 収益の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成 22 年度(A)		平成 21 年度(B)		差引(A)-(B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
<b>医業収益</b>	<b>598,699,252</b>	<b>53.3</b>	<b>670,613,456</b>	<b>61.8</b>	<b>△71,914,204</b>	<b>89.3</b>
入院収益	337,344,408	30.0	416,171,163	38.4	△78,826,755	81.1
外来収益	213,228,494	19.0	207,267,147	19.1	5,961,347	102.9
その他医業収益	48,126,350	4.3	47,175,146	4.3	951,204	102.0
<b>医業外収益</b>	<b>524,145,647</b>	<b>46.7</b>	<b>414,665,791</b>	<b>38.2</b>	<b>109,479,856</b>	<b>126.4</b>
受取利息配当金	6,208,000	0.5	5,230,000	0.5	978,000	118.7
他会計補助金	197,472,000	17.6	124,854,000	11.5	72,618,000	158.2
他会計負担金	315,038,000	28.1	278,630,000	25.7	36,408,000	113.1
患者外給食収益	2,015,124	0.2	2,245,233	0.2	△230,109	89.8
その他医業外収益	3,320,523	0.3	3,706,558	0.3	△386,035	89.6
補助金	92,000	0.0	0	0.0	92,000	—
<b>総収益</b>	<b>1,122,844,899</b>		<b>1,085,279,247</b>	<b>100.0</b>	<b>37,565,652</b>	<b>103.5</b>

(数値は消費税抜き)

### (4) 費用

総費用は、1,107,800,614 円で、前年度（1,069,067,178 円）に比較して 38,733,436 円の増加となった。

内容は、医業費用が 1,012,561,801 円で前年度（998,781,581 円）に比し、13,780,220 円の増となっている。これは主に給与費 10,493,850 円、材料費 2,397,812 円、減価償却費 2,692,310 円等の増によるものである。

医業外費用は、67,717,587 円で前年度（70,285,597 円）に比し 2,568,010 円の減少となっている。これは主に支払利息及び企業債取扱諸費 2,839,515 円の減によるものである。

また今回、特別損失、過年度損益修正損として 27,521,226 円が支出された。これは 21 年度分の入院基本料算定の中で、その算定基準である夜勤従事時間数の超過により入院基本料 10 対 1 からのランクダウンがあり返還金が生じたことによる。

## 費用の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成 22 年度 (A)		平成 21 年度 (B)		差 引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
<b>医業費用</b>	<b>1,012,561,801</b>	<b>91.4</b>	<b>998,781,581</b>	<b>93.4</b>	<b>13,780,220</b>	<b>101.4</b>
給与費	694,653,050	62.7	684,159,200	64.0	10,493,850	101.5
材料費	100,824,772	9.1	98,426,960	9.2	2,397,812	102.4
経 費	135,889,478	12.3	137,747,279	12.9	△1,857,801	98.7
減価償却費	75,284,859	6.8	72,592,549	6.8	2,692,310	103.7
資産減耗費	1,684,300	0.1	1,605,209	0.1	79,091	104.9
研究研修費	4,225,342	0.4	4,250,384	0.4	△25,042	99.4
<b>医業外費用</b>	<b>67,717,587</b>	<b>6.1</b>	<b>70,285,597</b>	<b>6.6</b>	<b>△2,568,010</b>	<b>96.3</b>
支払利息及び企業 債取扱諸費	53,259,550	4.8	56,099,065	5.2	△2,839,515	94.9
患者外給食材料費	1,740,952	0.2	1,726,666	0.2	14,286	100.8
消費税	1,115,300	0.1	1,112,000	0.1	3,300	100.3
雑損失	11,601,785	1.0	11,347,866	1.1	253,919	102.2
<b>特別損失</b>	<b>27,521,226</b>	<b>2.5</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>27,521,226</b>	<b>—</b>
過年度損益修正損	27,521,226	2.5	0	—	27,521,226	—
<b>総費用</b>	<b>1,107,800,614</b>	<b>100.0</b>	<b>1,069,067,178</b>	<b>100.0</b>	<b>38,733,436</b>	<b>103.6</b>

(数値は消費税抜き)

### 3 財 政 状 況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示しています。)

#### <資産>

本年度の資産総額は、2,673,725,349 円で、前年度 (2,752,456,795 円) に比し 78,731,446 円減少した。

総資産のうち有形固定資産は、土地、建物、構築物、器械・備品、車両で 2,013,377,585 円、前年度 (2,072,148,344 円) と比較して 58,770,759 円の減少である。無形固定資産は電話加入権 388,032 円、投資は、一般会計への長期貸付金 500,000,000 円で、固定資産の合計額は 2,513,765,617 円となった。

流動資産の合計は 159,959,732 円で、前年度 (179,920,419 円) に比し 19,960,687 円の減少である。内訳は、現金・預金は 13,870,980 円の減、未収金は 6,446,385 円の減、貯蔵品は 356,678 円の増となっている。

なお、当年度において患者医療費未収金のうち 11 件 884,470 円の不納欠損処分を行っている。

## ＜負債＞

負債合計 48,104,250 円は、前年度（62,047,672 円）に比し 13,943,422 円減少している。内訳は、固定負債が前年度に比し 10,022,000 円減少し、流動負債が前年度に比し 3,921,422 円減少している。

## ＜資本＞

資本金は、自己資本金が 900,387,743 円、借入資本金（企業債未償還残高）が 1,485,503,934 円で合計 2,385,891,677 円となっており、前年度（2,467,883,986 円）に比し 81,992,309 円の減である。

剰余金は、資本剰余金が 267,492,000 円で前年度（265,332,000 円）に比し 2,160,000 円の増、欠損金は、27,762,578 円で前年度（42,806,863 円）に比し 15,044,285 円の減で、剰余金合計は 239,729,422 円となっている。

当年度末の資本合計は 2,625,621,099 円で前年度（2,690,409,123 円）に比し 64,788,024 円の減となった。

## むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見を述べてまいりましたが、総括して次のとおり審査結果意見を申し上げます。

平成 22 年度病院事業は、町民の健康保持に必要な医療を提供するため、内科、外科、産婦人科、小児科、リハビリテーション科により、その経営にあたっている。

当年度の業務量は、入院延患者数 15,243 人（前年度 15,632 人）、外来延患者数 38,844 人（前年度 38,859 人）で、前年度と比較すると入院は 389 人の減少、外来では 15 人の微減となった。

これらに従事する職員は平成 23 年 3 月 31 日現在 89 名（内 28 名は嘱託、非常勤・臨時職員）で、前年度比較では職員が 2 名増員、臨時職員が 2 名増員となった。

経営成績は、総収益 1,122,844,899 円、総費用 1,107,800,614 円で差引純利益 15,044,285 円が計上されている。

医業収益は 598,699,252 円、医業費用は 1,012,561,801 円で、差引き 413,862,549 円上回っているが、一般会計からの補助金と負担金 512,510,000 円（前年度 403,484,000 円）を主なものとする医業外収益によって当年度純利益 15,044,285 円が計上された。当年度純利益を前年度繰越欠損金に充てられたが、年度末未処理欠損金が 27,762,578 円あり、引き続き医業収支の改善が必要となっている。

今回、医業収益が前年度比 71,914,204 円減収しているが、主な要因として、入院基本料算定基準の夜勤従事時間数超過により入院基本料が 10 対 1 からランクダウンしたことや、特別入院基本料への変更及び入院患者の減少によるものであり、特別損失（過年度損益修正損）としての 27,521,226 円と併せて、一般会計からの繰入れにより補填されている。このことから従前にまして医師、看護師、病院職員一丸となって医業収益の確保、さらには病院運営の安定に努力されることを期待する。

また、医業収益に対する職員給与費の比率は 115.6%と前年比 13.9%の増、医業収益に対する他会計繰入金の比率も、当該年度は 85.3% (前年度 60.0%) で前年比 25.3% 増加しており、一般会計からの繰出による依存体質からの脱却も大きな課題である。

「標茶町立病院改革プラン」により、平成 23 年度から病床数が 85 床から 60 床に変更された。3 年連続して病床利用率 70%を確保することが指針とされ、そのためには一日平均入院患者数 42 人以上が必要とされるが、平成 22 年度の一日平均入院患者数は 41.8 人であり、減床を行っても、なお大きな課題となっている状況にあるが、自治体病院は「地域住民の命、健康、暮らしを守る」地域の財産であることから、病院関係者をはじめ行政や住民が一体となって病院づくりに取り組み、住民の期待に応えることができるよう、一層の経営努力を望む。

## 資料1

## 標茶町病院事業貸借対照表比較

(単位：円・%)

項 目	平成 22年度 (A)		平成 21年度 (B)		差 引(A)－(B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	対前年比
1 固定資産	2,513,765,617	94.0	2,572,536,376	93.5	△58,770,759	97.7
(1)土地	4,164,000	0.2	4,164,000	0.2	0	100.0
(2)建物	1,815,698,102	67.9	1,864,841,831	67.7	△49,143,729	97.4
(3)構築物	90,746,468	3.4	92,961,206	3.4	△2,214,738	97.7
(4)器械・備品	102,424,664	3.8	109,836,956	4.0	△7,412,292	93.3
(5)車両	344,351	0.0	344,351	0.0	0	100.0
(6)電話加入権	388,032	0.0	388,032	0.0	0	100.0
(7)長期貸付金	500,000,000	18.7	500,000,000	18.2	0	100.0
2 流動資産	159,959,732	6.0	179,920,419	6.5	△19,960,687	88.9
(1)現金・預金	70,567,606	2.6	84,438,586	3.1	△13,870,980	83.6
(2)未収金	79,983,809	3.0	86,430,194	3.1	△6,446,385	92.5
(3)貯蔵品	9,408,317	0.4	9,051,639	0.3	356,678	103.9
<b>資産合計(1+2)</b>	<b>2,673,725,349</b>	<b>100.0</b>	<b>2,752,456,795</b>	<b>100.0</b>	<b>△78,731,446</b>	<b>97.1</b>
3 固定負債	3,202,000	0.1	13,224,000	0.5	△10,022,000	24.2
(1)その他固定資産	3,202,000	0.1	13,224,000	0.5	△10,022,000	24.2
4 流動負債	44,902,250	1.7	48,823,672	1.8	△3,921,422	92.0
(1)未払金	39,659,600	1.5	43,764,566	1.6	△4,104,966	90.6
(2)預り金	5,242,650	0.2	5,059,106	0.2	183,544	103.6
<b>負債合計(3+4)</b>	<b>48,104,250</b>	<b>1.8</b>	<b>62,047,672</b>	<b>2.3</b>	<b>△13,943,422</b>	<b>77.5</b>
5 資本金	2,385,891,677	89.2	2,467,883,986	89.6	△81,992,309	96.7
(1)自己資本金	900,387,743	33.7	900,387,743	32.7	0	100.0
(2)借入資本金	1,485,503,934	55.5	1,567,496,243	56.9	△81,992,309	94.8
6 剰余金	239,729,422	9.0	222,525,137	8.1	17,204,285	107.7
(1)資本剰余金	267,492,000	10.0	265,332,000	9.6	2,160,000	100.8
ア 受贈財産評価額	4,700,000	0.2	4,700,000	0.2	0	100.0
イ 国道補助金	262,792,000	9.8	260,632,000	9.4	2,160,000	100.8
(2)欠損金	27,762,578	1.0	42,806,863	1.5	△15,044,285	64.9
イ 当年度未処理欠損金	27,762,578	1.0	42,806,863	1.5	△15,044,285	64.9
<b>資本合計(5+6)</b>	<b>2,625,621,099</b>	<b>98.2</b>	<b>2,690,409,123</b>	<b>97.7</b>	<b>△64,788,024</b>	<b>97.6</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>2,673,725,349</b>	<b>100.0</b>	<b>2,752,456,795</b>	<b>100.0</b>	<b>△78,731,446</b>	<b>97.1</b>

&lt;注&gt;数値には、消費税は含まれていない

## 資料2

## 病院経営管理指標

項 目	積 算 基 礎	22年度		21年度		対前年比 (A-B)	備 考
		数 値	指標A	数 値	指標B		
1. 経常収支比率(%)	経常収益 経常費用 × 100	<u>1,122,844,899</u> 1,107,800,614 × 100	101.4	<u>1,085,279,247</u> 1,069,067,178 × 100	101.5	△ 0.1	
2. 医業収支比率(%)	医業収益 医業費用 × 100	<u>600,755,006</u> 1,024,513,052 × 100	58.6	<u>672,642,722</u> 1,010,717,993 × 100	66.6	△ 8.0	
3. 職員給与費対 医業収益比率(%)	職員給与費 医業収益 × 100	<u>694,653,050</u> 600,755,006 × 100	115.6	<u>684,159,200</u> 672,642,722 × 100	101.7	13.9	
4. 薬品費対 医業収益比率(%)	薬品費 医業収益 × 100	<u>69,571,735</u> 600,755,006 × 100	11.6	<u>69,222,562</u> 672,642,722 × 100	10.3	1.3	
5. 経費対 医業収益比率(%)	経 費 医業収益 × 100	<u>135,889,478</u> 600,755,006 × 100	22.6	<u>137,747,279</u> 672,642,722 × 100	20.5	2.1	
6. 薬品使用効率(%)	薬品収入 薬品使用額 × 100	<u>50,195,833</u> 45,874,533 × 100	109.4	<u>49,053,690</u> 46,270,790 × 100	106.0	3.4	薬品使用額は薬品費より検査 試薬血液を除いた金額
7. 企業債元利償還金対 医業収益比率(%)	企業債元利償還金 医業収益 × 100	<u>135,144,190</u> 600,755,006 × 100	22.5	<u>135,144,190</u> 672,642,722 × 100	20.1	2.4	
8. 病床利用率 (一般病床)(%)	年延入院患者数 年延稼働病床数 × 100	<u>15,243</u> 31,025 × 100	49.1	<u>15,632</u> 31,025 × 100	50.4	△ 1.3	
9. 入院患者1人1日当り 診療収入(円)	入院収益 年延入院患者数	<u>337,344,408</u> 15,243	22,131	<u>416,171,163</u> 15,632	26,623	△ 4,492	
10. 外来患者1人1日当り 診療収入(円)	外来収益 年延外来患者数	<u>213,228,494</u> 38,844	5,489	<u>207,267,147</u> 38,859	5,334	155	
11. 平均在院日数(日)	年延在院患者数 1/2(新入院患者数+退院患者数)	<u>15,243</u> 1,195	25.5	<u>15,623</u> 1,052	29.7	△ 4.2	
12. 1日平均入院患者数(人)	入院患者数 入院診療日数	<u>15,243</u> 365	41.8	<u>15,632</u> 365	42.8	△ 1.0	
13. 1日平均外来患者数(人)	外来患者数 外来診療日数	<u>38,844</u> 243	159.9	<u>38,859</u> 242	160.6	△ 0.7	
14. 医師1人1日当り 医業収益(円)	医業収益 年延医師数	<u>600,755,006</u> 1,460	411,476	<u>672,642,722</u> 1,460	460,714	△ 49,238.0	
15. 医業収益対 他会計繰入金比率(%)	他会計繰入金 医業収益 × 100	<u>512,510,000</u> 600,755,006 × 100	85.3	<u>403,484,000</u> 672,642,722 × 100	60.0	25.3	